

特定治療支援事業の実態（令和2年度事業実施状況調査）

- 令和2年度の事業実施状況調査では、特定不妊治療にかかる一周期あたりの費用は採卵～新鮮胚移植～妊娠判定まで、において体外受精約40万円、顕微授精約45万円。採卵～凍結胚移植～妊娠判定まで、において体外受精約54万円、顕微授精約61万円。

治療ステージ		実人員数 (人)	延件数 (件)	1件あたり平均治療金額 (円)
新鮮胚移植を実施	体外受精	6,187	7,348	401,587
	顕微授精	6,994	8,572	453,880
凍結胚移植を実施	体外受精	19,030	21,474	537,026
	顕微授精	28,375	33,128	608,525
以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施		31,896	46,896	169,398
体調不良等により移植のめどが立たず治療終了		3,798	4,454	414,518
受精できず または、胚の分割停止、変成、多精子授精などの異常授精等により中止		9,105	11,778	302,797
採卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が得られないため中止		1,153	1,417	159,564
男性不妊治療のみ		407	413	381,898
合 計		106,945	135,480	

※平均治療金額には、実際にかかった助成対象1件あたりの治療費の平均を記入。

- 助成事業の利用者は実人数、延件数ともに39歳がピーク。

年齢	実人員数 (人)	延件数 (件)	年齢	実人員数 (人)	延件数 (件)	年齢	実人員数 (人)	延件数 (件)
～24歳	291	421	31歳	4,415	6,842	38歳	6,937	11,389
25歳	346	506	32歳	5,154	7,959	39歳	7,340	12,445
26歳	660	976	33歳	5,588	8,667	40歳	6,676	10,822
27歳	1,267	1,925	34歳	6,334	9,900	41歳	5,704	8,638
28歳	2,036	3,069	35歳	6,829	10,798	42歳	5,661	8,590
29歳	2,957	4,502	36歳	7,147	11,398	合計	85,821	135,480
30歳	3,712	5,628	37歳	6,767	11,005			